

# 木造3階建て学校の実大火災実験(本実験) の結果【速報】

---

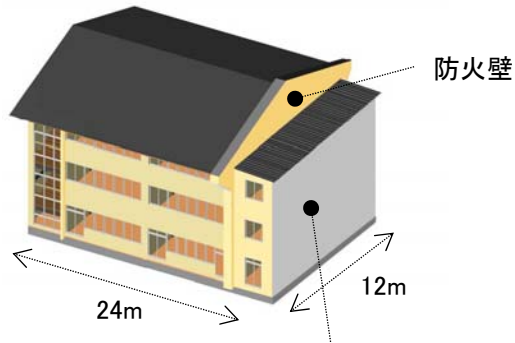
## H25本実験 (平成25年10月20日に下呂市で実施)

**目的** これまでの研究成果で得られた基準化に向けた知見を実大実験で検証すること。

建築面積 : 310㎡  
延べ面積 : 850㎡

構造 : 1時間準耐火構造  
バルコニー・ひさし : なし  
内装 : 壁及び床は木  
**天井は準不燃材料**

防火壁 : ラッチを設けた防火戸を設置。(壁面から50cm突出)



防火壁を越えた延焼を確認するための部分

### ■実験の主な目的

#### ①法第21条第2項関係

防火壁の出幅を50cmとした場合に、火災が終了するまで以下の性能を有することを検証。  
(火災盛期を超えた状態まで火災を継続し検証。)

- ①屋内外を通じた延焼防止性能
- ②防火壁の倒壊防止性能

#### ②法第27条関係

天井を不燃化した場合に、在館者の避難・救助が完了するまで以下の性能を有することを検証。

- ①他の区画への延焼防止性能
- ②他の区画への遮煙性能
- ③主要構造部の倒壊防止性能

### ■実験の状況(以下は映像等による確認結果であり、詳細は分析中)

※以下の時間は再着火後の時間

#### ・火災の拡大

火災盛期を超えた後の消火まで(約135分間)屋内外を通じた延焼はなかった。  
屋外を通じ、防火壁を越えた延焼を確認するための部分の2,3階の窓廻りの目地の一部が約65分に着火(屋内への延焼はなかった。)

#### ・防火壁の倒壊

火災盛期を超えた状態まで(約135分間)防火壁は倒壊しなかった。

#### ・火災の拡大

出火階の他の区画(階段室)へは、火災盛期を超えた後の消火まで(約135分間)延焼しなかった。  
出火階より上の階の区画へは、外部開口部を通じ2階へ約63分、3階へ約67分で延焼。

#### ・煙の流動

出火階の他の区画(階段室)では、3階の階段室天井に設置した煙感知器が約52分で作動。※避難上の支障となるものか検証中。  
出火階より上の階の区画では、2階の居室天井に設置した煙感知器が約49分で作動。※避難上の支障となるものか検証中。

#### ・構造躯体の倒壊

2階の床が約112分で燃え抜け。  
火災盛期を超えた後の消火まで(約135分間)建物は倒壊しなかった。